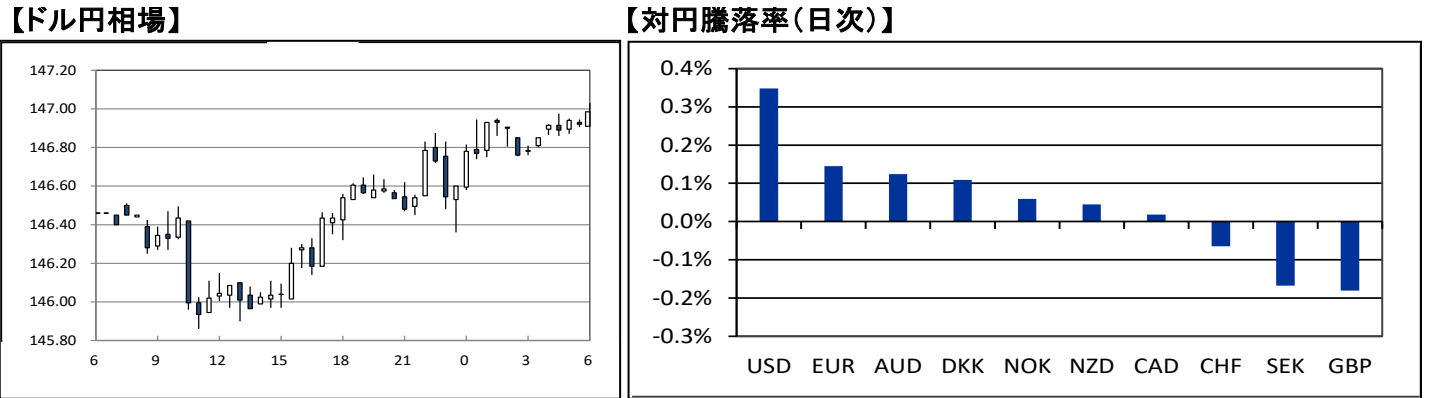


【昨日の市況概要】				公示仲値	146.50
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	146.35	1.1773	172.20	1.3577	0.6601
SYD-NY High	147.03	1.1789	172.87	1.3588	0.6625
SYD-NY Low	145.86	1.1732	171.81	1.3504	0.6586
NY 5:00 PM	146.99	1.1748	172.69	1.3512	0.6591
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,693.91	▲ 316.38	日本2年債	0.8400%	0.0200%
NASDAQ	21,057.96	37.94	日本10年債	1.6000%	0.0100%
S&P	6,363.35	4.44	米国2年債	3.9152%	0.0319%
日経平均	41,826.34	655.02	米国5年債	3.9598%	0.0256%
TOPIX	2,977.55	51.17	米国10年債	4.3987%	0.0160%
シカゴ日経先物	41,655.00	▲ 45.00	独10年債	2.6935%	0.0940%
ロンドンFT	9,138.37	76.88	英10年債	4.6220%	▲0.0145%
DAX	24,295.93	55.11	豪10年債	4.3650%	0.0600%
ハンセン指数	25,667.18	129.11	USDJPY 1M Vol	9.67%	▲0.29%
上海総合	3,605.73	23.43	USDJPY 3M Vol	10.10%	▲0.02%
NY金	3,373.50	▲ 24.10	USDJPY 6M Vol	10.06%	
WTI	66.03	0.78	USDJPY 1M 25RR	▲1.09%	Yen Call Over
CRB指数	304.37	0.52	EURJPY 3M Vol	8.53%	0.04%
ドルインデックス	97.38	0.16	EURJPY 6M Vol	8.82%	

東京	東京時間のドル円は146.35レベルでオープン。仲値にかけて実需のドル買いが進み146.49まで上昇。その後は日銀の早期利上げ観測の高まりから円買いが進み、一時145.86まで下落。円買いが一服すると、146円ちょうど付近で揉みあう展開が続き、結局146.20レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.20レベルでオープン。海外時間の下落を取り戻す形で底堅く推移し、結局146.50レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1767レベルでオープン。午後にECB政策金利発表を控え1.1744まで売られた後反発し、結局1.1759レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回った事や、米7月サービス業PMIが予想を上回った事を受け、146.90付近まで上昇。午後も高値圏の146.90付近での推移が続き、終盤にかけては147.03まで上値を伸ばし、その後146.99レベルでクローズ。一方ユーロドルは、朝方に行われたECB理事会では予想通り主要政策金利を2.15%に据え置いた。続いて行われたECBラガルド総裁の記者会見では、「米国との関税交渉の進展は依然不透明」等との発言を受け、次回会合での利下げ観測が後退し、1.1789まで反発する。午後は小幅反落し、1.1760付近を挟んだレンジ推移が続き、1.1748レベルでクローズ。

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event			結果	予想
7月24日	16:30	独	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	7月	49.2/50.1/50.3	49.5/50/50.7
	17:00	欧	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	7月	49.8/51.2/51.0	49.8/50.6/50.7
	20:50	米	建設許可件数・確報	6月	1393k	-
	21:15	欧	ECB預金ファシリティ・レート/主要政策金利	24-Jul	2.00%/2.15%	2.00%/2.15%
	21:23	米	住宅建設許可(前月比)・確報	6月	-0.1%	-
	21:30	加	小売売上高(前月比)	5月	-1.1%	-1.0%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	19-Jul	217k	226k
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	6月	-0.1	-0.15
	22:45	米	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	7月	49.5/55.2/54.6	52.7/53.0/52.8
	23:00	米	新築住宅販売件数	6月	627k	650k
【本日の予定】						
Date	Time	Event			予想	前回
7月25日	08:30	日	東京/コア/コアコアCPI	7月	3.0%/3.0%/3.1%	3.1%/3.1%/3.1%
	14:00	日	景気一致指数・確報	5月	-	115.9
	15:00	英	小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	6月	1.2%/1.9%	-2.8%/-1.3%
	17:00	独	IFO企業景況感/現況/期待指数	7月	89.0/86.7/91.1	88.4/86.2/90.7
	21:30	米	耐久財受注/除輸送用機器(前月比)・速報	6月	-10.7%/0.1%	16.4%/0.5%



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.30-147.90	1.1720-1.1790	172.30-173.50

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円は上値を試す展開を想定。日米関税合意による不確実性の後退によって来週会合を予定している日銀の早期追加利上げ期待は高まっているものの、石破首相進退を巡る観測報道やその後の財政規律悪化への警戒感も燃る中、目下日米合意後のリスクオン色が一巡すれば再び円はその脆弱性が意識されやすいだろう。昨日も146円割れ後の日足基準線(145.93)や100MA(145.68)、週足転換線(145.65)を下に控え確りとした押し目買いにサポートされた。米国サイドも来週に控えたFOMCに向けてブラックアウト期間中でFRB高官からの発信こそないがトランプ政権からの金利引き下げ圧力は継続し、他国の関税交渉を巡る不確実性もありドル自体の上値が重い状況は不変とみるものの、本日はゴト一日における本邦輸入勢の円売りフローも含め本邦要因による円売りの加速に警戒したいところ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。